

薩摩硫黄島の火山活動解説資料(平成20年7月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

噴煙活動はやや活発で、地震回数はやや多い状態が続いています。
硫黄岳火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
平成19年12月1日に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

7月の活動概況

・噴煙などの表面現象の状況(図2)

硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、やや活発な状態で経過しました。

噴煙は白色で、高さは概ね500mで経過しました。

・地震、微動の発生状況(図2、図3)

地震活動はやや活発な状態で経過しました。

火山性地震の月回数は167回(6月:177回)とやや多い状態が続いています。

火山性微動は観測されませんでした(6月:5回)。

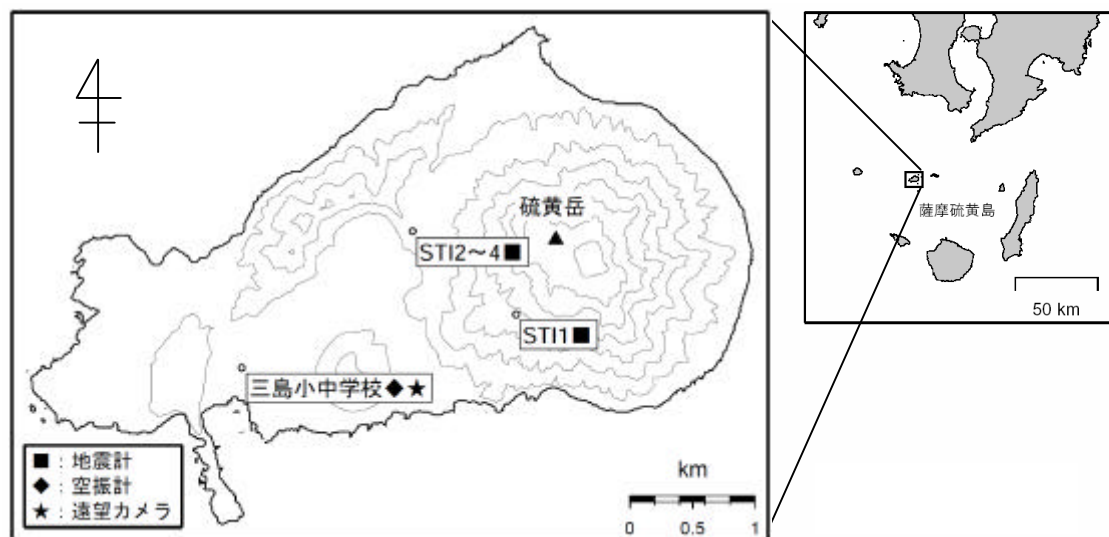


図1 薩摩硫黄島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年8月分)は平成20年9月10日に発表予定です。

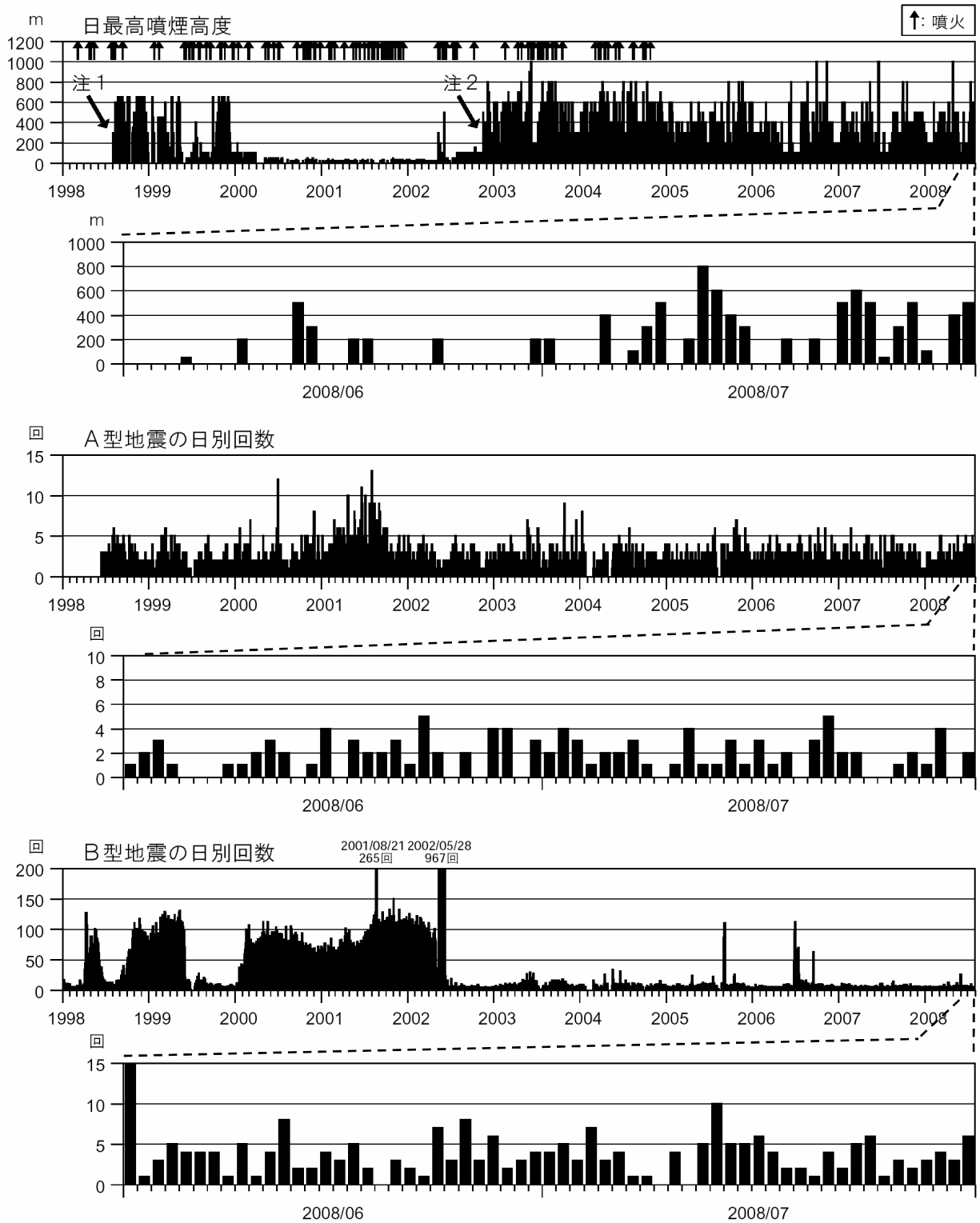


図2 薩摩硫黄島 火山活動経過図(1998年1月~2008年7月)

- ・噴煙は白色で、高さは概ね500mで推移しました。
- ・A型地震は56回(2008年6月:53回)で、大きな変化はありませんでした。
- ・B型地震は111回(2008年6月:125回)で、大きな変化はありませんでした。

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

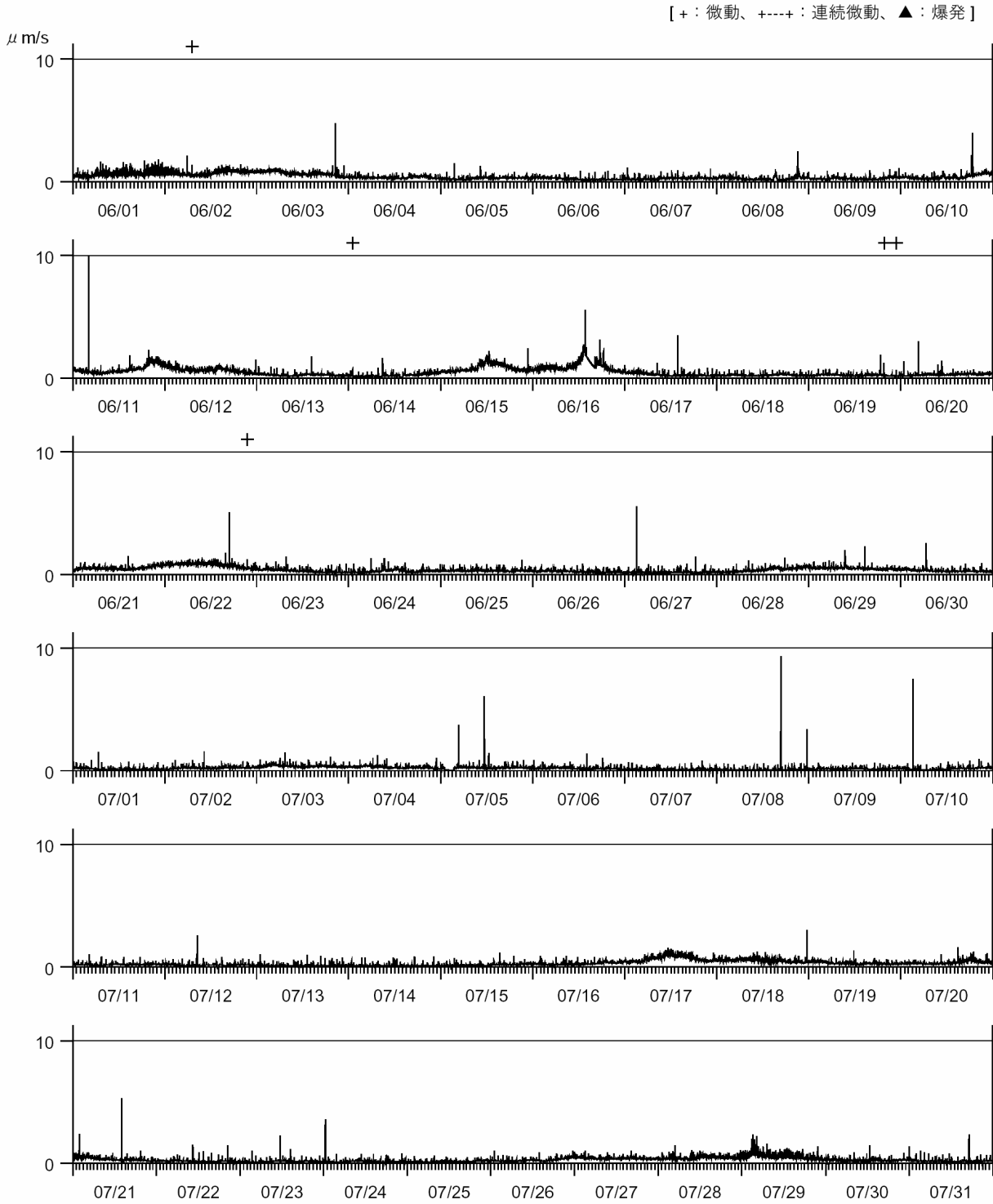


図3 薩摩硫黄島 1分間平均振幅の時間変化（ST11上下成分）（2008年6月～2008年7月）
 ・継続時間の短い火山性微動は観測されませんでした（6月：5回）。